

「トロンボポエチン受容体作動薬により骨髄線維化を誘導したヒト造血幹細胞導入 NOG マウスに対する抗 SLAMF7 抗体の骨髄線維化抑制効果の検証」に関する研究

1. 研究の対象

平成 20 年 1 月 1 日から平成 28 年 11 月 30 日までの期間中に防衛医科大学校病院血液内科で末梢血幹細胞採取を受けられた方

2. 研究目的・方法

原発性骨髄線維症は全身の骨髄が線維化し貧血、脾腫、全身倦怠感などを引き起こす比較的稀な難治性の血液疾患です。現在のところ骨髄移植を除いて根本的な治療がなく、年齢や合併症の関係から骨髄移植が受けられない患者さんにおいては治療が難しい疾患となっています。

当科では骨髄線維症の動物モデルを用いて治療法の研究等を行っており、その一環として、多発性骨髄腫治療薬として開発された抗SLAMF7抗体の骨髄線維症への治療効果を検証しております。そのためには、NOGマウスという先天性に免疫不全状態にあるマウスにヒトの末梢血幹細胞を輸注し生着させたヒト造血幹細胞導入NOGマウスを作成する必要があります。研究期間については平成28年11月30日から平成30年3月31日までを予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

当科においてこれまで採取保存した末梢血幹細胞のうち、不幸にして患者さんが亡くなられたなどの理由で、今後使用する見込みがなく破棄される予定の細胞を用いたいと考えています。使用される末梢血幹細胞はID等の個人情報を消去してから使用されるため、通常の診療と同様にプライバシーが保護されます。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、

下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者の氏名：前川隆彰

診療科：防衛医科大学校病院血液内科

連絡先：埼玉県所沢市並木3-2

TEL 04-2995-1617

分担研究者の氏名：木村文彦・佐藤謙・小林真一・大澤有紀子・加藤章一郎

診療科：防衛医科大学校病院血液内科

連絡先：埼玉県所沢市並木3-2

TEL 04-2995-1617